

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金														令和05年01月11日		
計画の名称	災害に強く安心して暮らせるまちづくり（防災・安全）															
計画の期間	令和05年度 ～ 令和09年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	三条市															
計画の目標	老朽化した下水道施設が適正に機能発揮できるよう計画的な改築や更新に努めることにより安心して暮らせるまちを形成する。															
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		845	A	845	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初	R7末	R9末
1	ストックマネジメント計画に基づく改築更新を実施する対象施設を1箇所から3箇所に増加させる。			
	ストックマネジメント計画の達成率 (改築更新を実施した対象施設箇所数/ストックマネジメント計画における対象施設箇所数)	33%	67%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

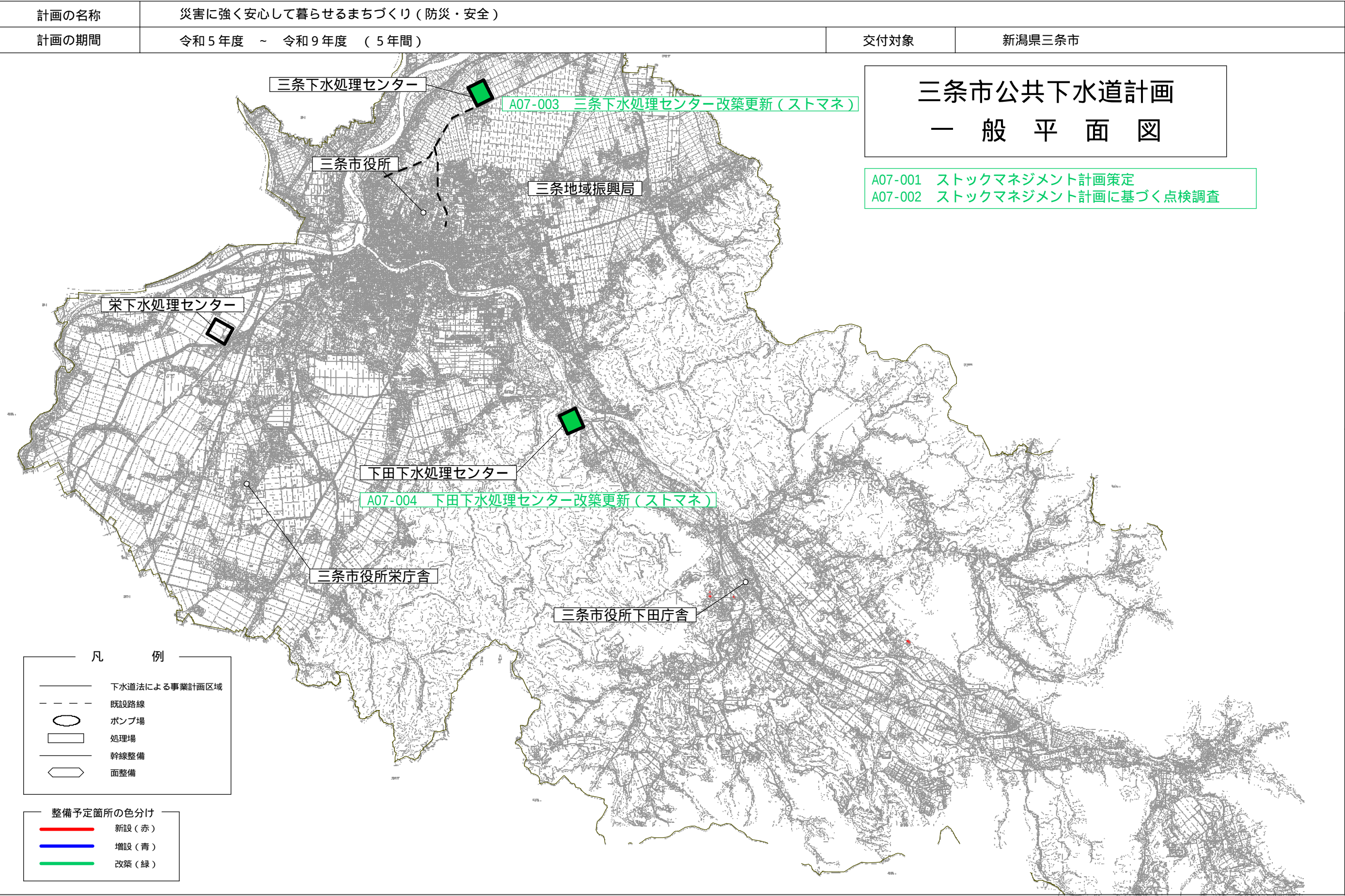
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	三条市	直接	三条市	-	-	ストックマネジメント計画策定	計画策定	三条市		■	■			50		-
		三条、栄、下田処理区																	
	A07-002	下水道	一般	三条市	直接	三条市	-	-	ストックマネジメント計画に基づく点検調査	管路施設等	三条市	■	■	■	■	■	65		策定済
		ストックマネジメント																	
	A07-003	下水道	一般	三条市	直接	三条市	終末処理場	改築	三条下水処理センター改築更新(ストマネ)	中央監視設備、受変電設備等	三条市	■	■	■	■	■	650		策定済
		ストックマネジメント																	
	A07-004	下水道	一般	三条市	直接	三条市	終末処理場	改築	下田下水処理センター改築更新(ストマネ)	中央監視設備等	三条市	■	■	■	■	■	80		策定済
		ストックマネジメント																	
											小計						845		
											合計						845		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	50				
計画別流用増 減額 (b)	13				
交付額 (c=a+b)	37				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	37				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

水の安全・安心基盤整備



事前評価チェックシート

計画の名称： 災害に強く安心して暮らせるまちづくり（防災・安全）

事前評価		チェック欄
Ⅰ．目標の妥当性		
上位計画等との整合性 1)まちづくりの目標が三条市総合計画の方針と適合している		○
Ⅰ．目標の妥当性		
地域の課題への対応 1)老朽化した下水道施設の持続可能な管理(改築更新)を実施するものである		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
目標と事業内容の整合性等 1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
目標と事業内容の整合性等 2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
目標と事業内容の整合性等 3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
目標と事業内容の整合性等 4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
事業の効果 1)十分な事業効果が確認される。既存施設の改築更新をすることにより、老朽化に伴う処理機能停止リスクの低減を図る		○
Ⅲ．計画の実現可能性		
地元の熱意 1)事業に向けた機運がある		○
Ⅲ．計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境 1)計画の具体性など、事業の熟度が高い		○
Ⅰ．目標の妥当性		
円滑な事業執行の環境 2)事業実施のための環境整備が図られている		○